

Re:lation と AWS

Startup Loft Tokyo@Osaka

目指せ日本の西海岸！関西スタートアップの AWS 活用事例


2023/12/12

株式会社インゲージ

永田 兆 / 舘林 秀和

自己紹介



- 永田 兆 (ながた きざし)
- @kizashi1122  
- 独立系Sler、BtoB SaaS 会社を経て
- 2014年よりインゲージ社（創業メンバー）
 - 創業時よりCTO
 - 自社サービス Re:lation の開発
 - 当初 バックエンドやインフラを担当
- 2児の父（長男小5、長女小3）

会社紹介

- 株式会社インゲージ
- 代表取締役 CEO 和田 哲也
- 創業 2014年1月11日
- 大阪府大阪市北区芝田1-14-8 梅田北プレイス

 ingage

- Make IT Easy -

 J-Startup
KANSAI

社内勉強会風景

The image shows a Zoom meeting interface. The main window displays a Scratch project editor. The project is titled "Toma (画面共有)". The browser address bar shows "https://scratch.mit.edu/projects/915724162/editor". The Scratch interface includes a code editor with a script block: "が押されたとき" (When green flag clicked) followed by a "ずっと" (Forever) loop containing a "40 度回す" (Repeat 40 times) block. The stage shows a cat sprite. The bottom of the Zoom window shows a system tray with the date and time "2023/11/02 18:40".

On the right side, there is a grid of video thumbnails for participants. The participants visible are:

- Toma (top left)
- 永田 翔 (middle right)
- Shuto Tatebayashi (bottom right)

At the bottom left of the Zoom window, there is a text overlay: "|| ユーザーの画面が meet.google.com で共有されています。共有の停止 表示/隠す".

サービス紹介



機能

連携サービス

導入事例

料金



稼働状況



販売パートナー



ログイン

資料請求
問い合わせ

無料
トライアル

Re:lation for Biz



問い合わせ対応の 困ったをゼロに。



※「BOXIL SaaS AWARD Spring 2023」メール共有・問合せ管理システム部門



資料請求・問い合わせ

10日間無料トライアル

最近リリースした機能

ChatGPT との連携

すべての操作履歴を表示する

AI要約を表示

Amazon Web Services, Inc.' via dev (1/1) 2023/08/25 13:02

[アクションが必要です] AWS Lambda における Ruby 2.7 のサポートの終了 | [Action Required] AWS Lambda end of support for Ruby 2.7 [AWS Account: 881689356622] [AP-NORTHEAST-1]

AWS Lambda における Ruby 2.7 のサポートの終了についての通知。2023年3月31日にサポート終了予定であり、2023年12月7日以降はセキュリティパッチやアップグレードが適用されず、2024年1月25日以降は更新もできなくなる。既存の関数は Ruby 3.2 にアップグレードすることを推奨。関数の実行には影響しないが、保守やパッチ適用はされない。関数の一覧表示方法も提供されている。

To wada Cc dev

コメント (0)

コメントを追加

English follows Japanese | 英語のメッセージは日本語の後にございます

いつもお世話になっております。

お客様の AWS アカウントに現在 Ruby 2.7 ランタイムを使用する 1 つ以上の Lambda 関数があることを確認しましたので、ご連絡いたします。

AWS Lambda では Ruby 2.7 のサポートを終了する予定です。これは、2023 年 3 月 31 日に Ruby 2.7 のサポート終了 (EOL) に達したことに続くものです [1]。

Lambda ランタイムサポートポリシー [2] で説明されているように、Lambda での言語ランタイムのサポートの終了は 2 段階で行われます。2023 年 12 月 7 日以降、Lambda は Lambda 関数で使用される Ruby 2.7 ランタイムにセキュリティパッチやその他

本文を要約

ChatGPT との連携

The screenshot shows an email client interface. On the left, a draft email is visible with the following content:

永田です。
どうもです。

来週の会議ですけど、参加できません。
ごめんなさい。

--
株式会社インゲージ <dev@ingage.jp>
永田 兆
大阪府大阪市北区芝田1丁目14-8 梅田北プレイス 14F

株式会社インゲージは ISO27001(SMS) 取得企業です。(IS639494)
*** このメールは顧客対応ツールのリレーション (<https://ingage.jp/relation>) よりお送りしています ***

On the right, a panel titled "AIアシスタント - AI本文チェック" (AI Assistant - AI Content Check) is shown. A red arrow points to this panel. It contains the following text:

完了しました!

1. メールの開始が非公式すぎます。「永田です。どうもです。」は、ビジネスメールとしては不適切です。代わりに、「永田です。お世話になっております。」などのように、敬意を示す表現を使用すべきです。
2. 「来週の会議ですけど、参加できません。」は、理由もなく、また、代替案も提案せずに参加できないことを伝えています。これは、他の参加者や会議の主催者に対して不適切です。理由を明記し、可能であれば代替案を提案すべきです。
3. 「ごめんなさい。」は、ビジネスメールではあまり使用されない表現です。代わりに、「ご理解いただけますと幸いです。」などのように、敬意を示す表現を使用すべきです。
4. メールの終わりには、適切な結びの言葉が必要です。例えば、「よろしくお願いたします。」や「何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。」などといった表現を使用すべきです。
5. 全体的に敬語の使用が不足しています。ビジネスメールでは、相手に対する敬意を示すために敬語を使用することが一般的です。

At the bottom of the AI panel, there are buttons for "役に立ちましたか?" (Was it helpful?), "承認依頼" (Request Approval), "送信" (Send), "一覧に戻る" (Return to List), and "再依頼" (Request Again).

自分の書いたメール本文を
ビジネスメール的な観点で
チェック

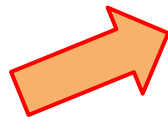
ChatGPT との連携

AIアシスタント - 下書き作成

🗨️ どういう内容で作成しますか？

12/12のスタートアップのイベントの登壇依頼への感謝の意を伝えるメールを書いてください

依頼



AIアシスタント - 下書き作成

🗨️ 完了しました！

本文に適用

イベントの登壇依頼をいただき、心から感謝申し上げます。12月12日のスタートアップイベントでの登壇は、私にとって大変光栄な機会となります。私の経験や知識が皆様の参考になれば幸いです。

このような機会を提供いただき、本当にありがとうございます。イベントの成功に向けて、全力で準備を進めて参ります。皆様の期待に応えられるよう、最善を尽くします。

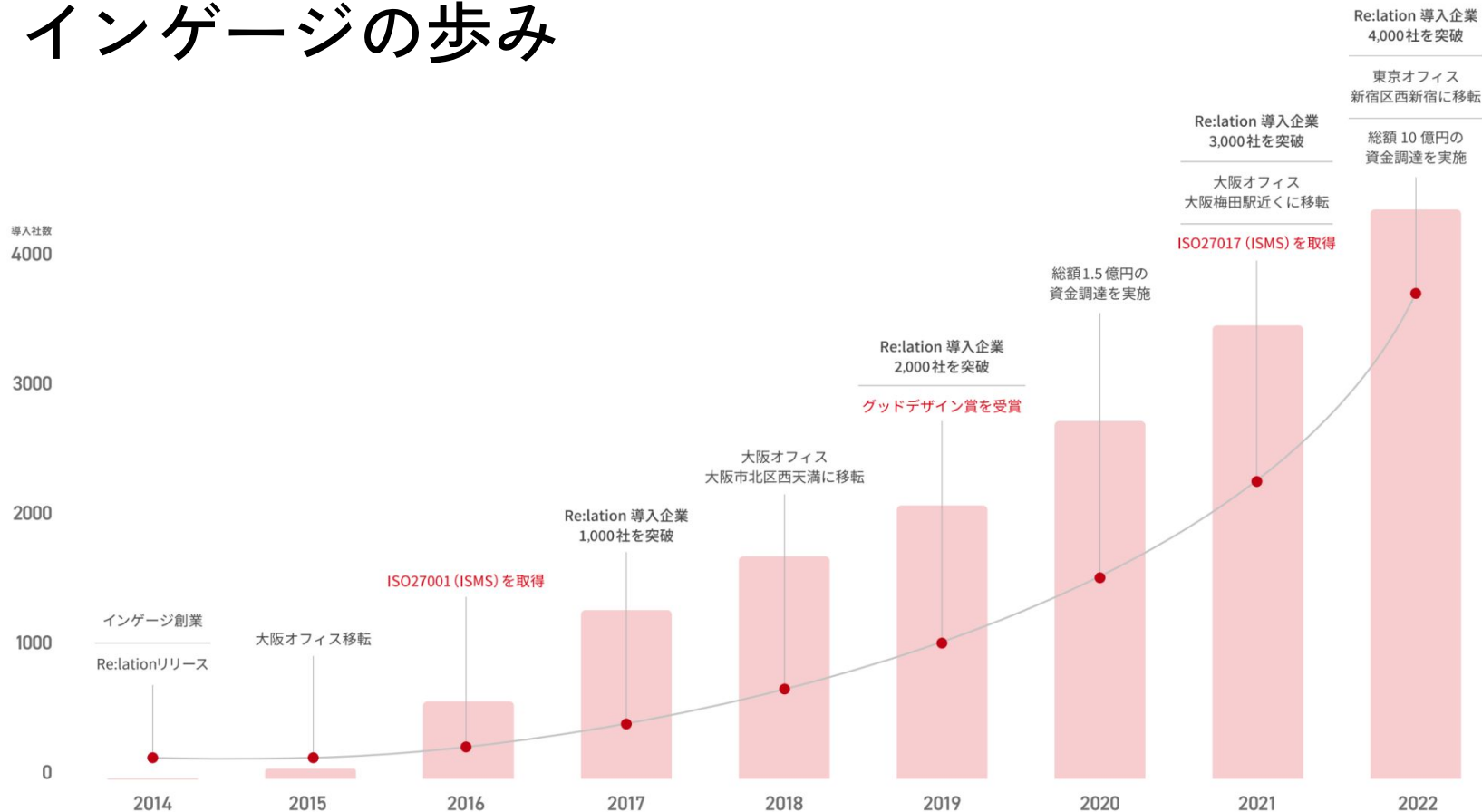
また、イベントの詳細や私の登壇に関する具体的な要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。皆様のご意見を参考に、より良いプレゼンテーションを目指します。

今後ともよろしく願い申し上げます。

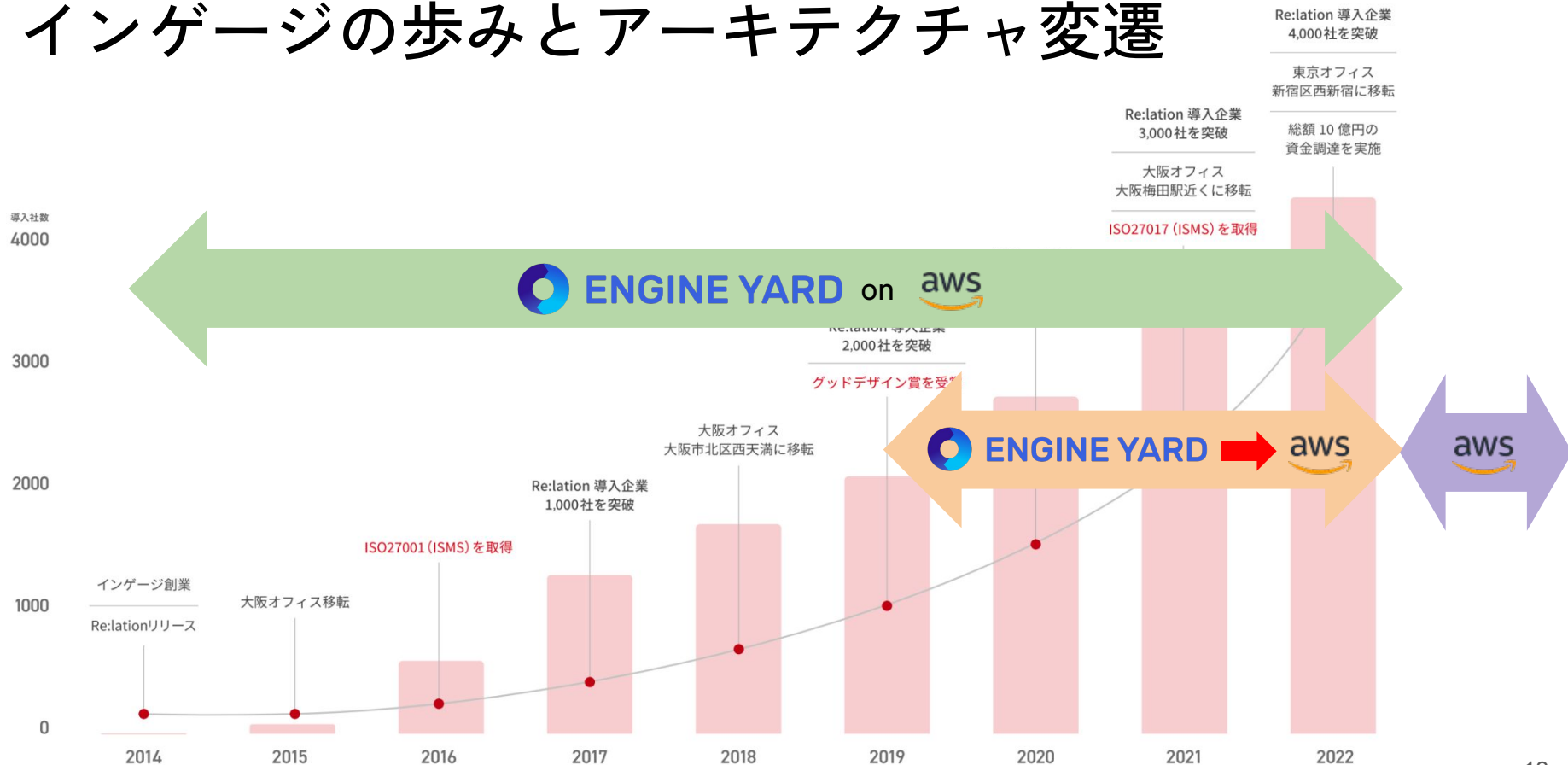
書きたいメールのプロンプトを与えて下書きを作成

アーキテクチャ変遷

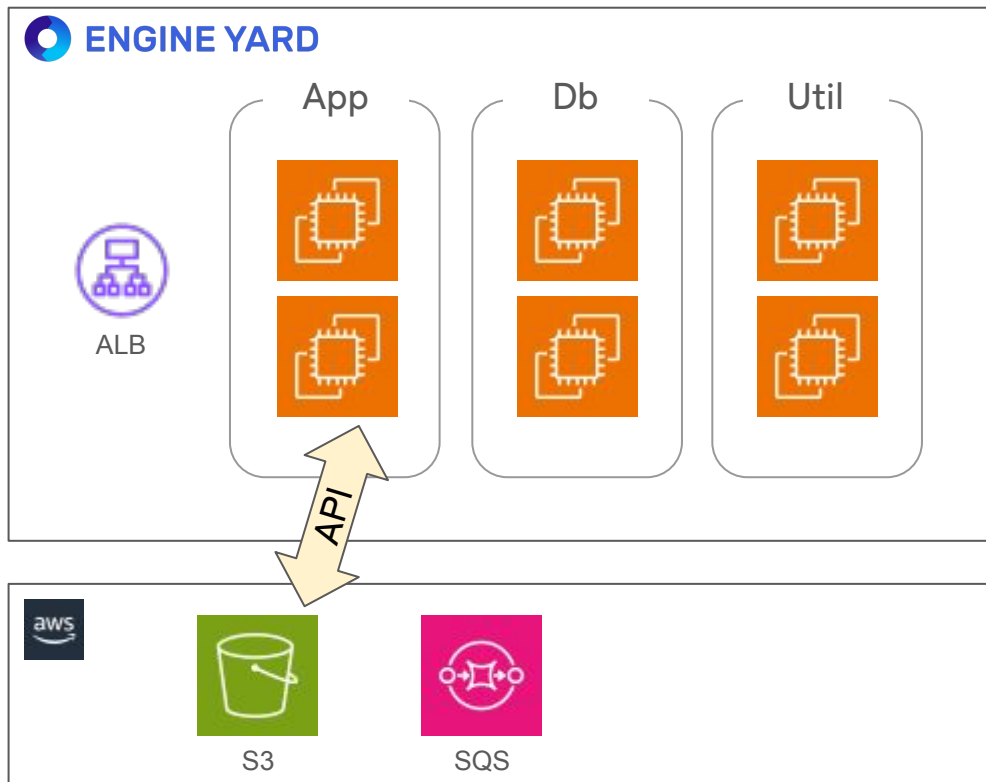
インゲージの歩み



インゲージの歩みとアーキテクチャ変遷



初期 (Engine Yard)



- Engine Yard = AWSを基盤とする PaaS
- 開発に集中するため=インフラ運用コストを減らすため、IaaS (AWS) ではなく、PaaS を採用した
- すべてEC2で構成 (Chef で構成管理)
- Redis や Elasticsearch も自前で構築

なぜ Engine Yard から AWS に移行したのか

- Engine Yard はめちゃくちゃよかった。サポートもよかった。開発に集中できた。
- Ruby のバージョンを含めたミドルウェアのバージョンに制限があった
- AWS のマネージド・サービスの圧倒的な魅力
- AWS で次々と生み出される様々なサービスとの連携が不十分だった

AWS への完全移行を決意

AWSへの移行時の問題（1つだけ紹介）

最小限のダウンタイム
異なるデータベースエンジン間での移行が可能
という魅力的なサービス



EC2(PostgreSQL)



AWS Database Migration Service (DMS)



Amazon Aurora

AWSへの移行時の問題



EC2(PostgreSQL)



AWS Database Migration Service (DMS)



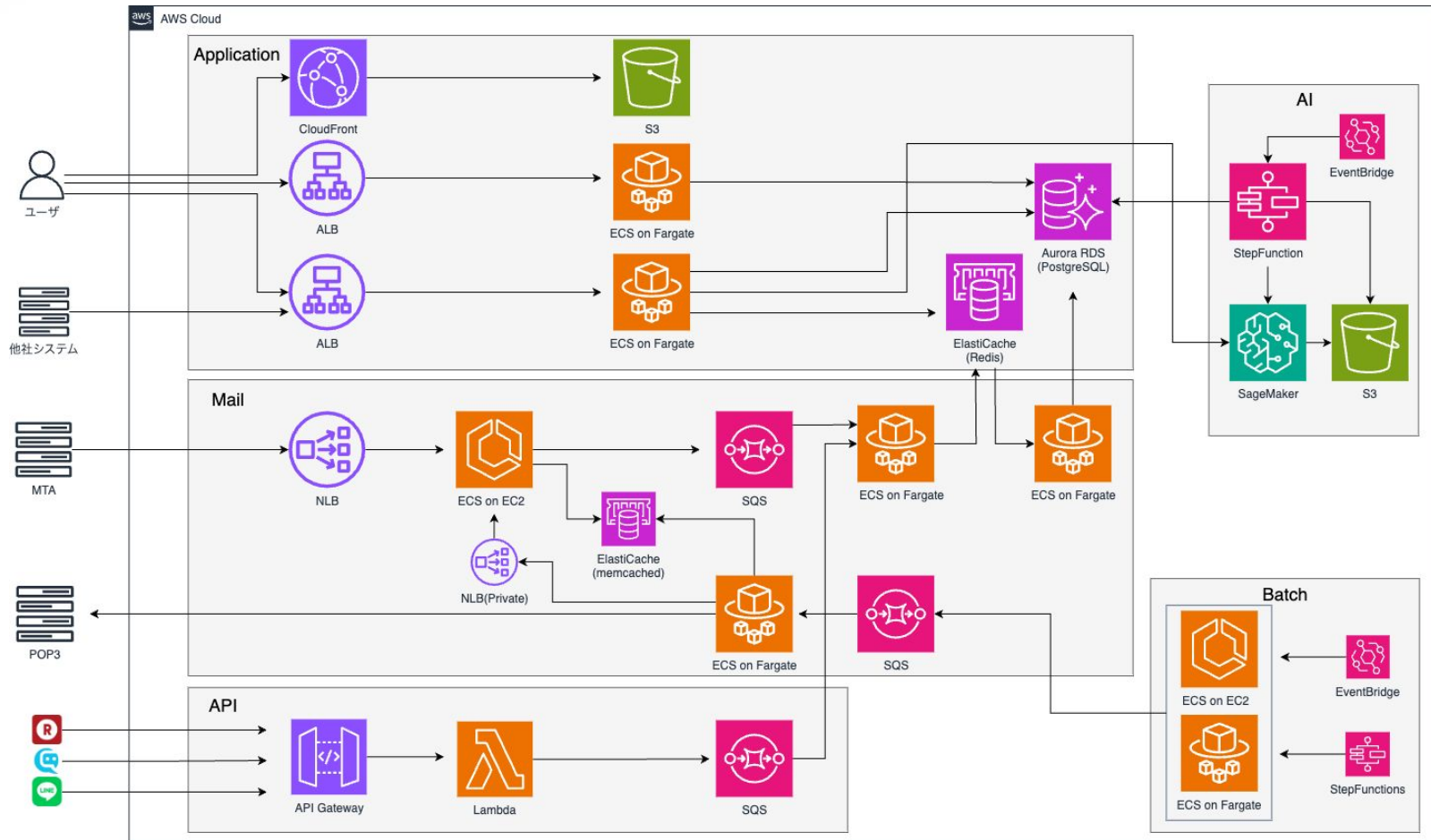
Amazon Aurora

結論：DMSでは移行できなかった（2020年時点では）

原因：テーブルが多く、更新頻度も高かった

最終的に全スキーマ dump & restore を並列で実施（2TBで3時間）

現在



今後のチャレンジ

- よりスケーラブルに
 - サーバーレス最大限活用、NoSQL DB の利用
- AI & LLM 活用
 - Amazon Bedrock/Amazon Q に期待
- AWS ファンデーションショナルテクニカルレビュー (FTR) 通過！



クラウド電話

自己紹介



- 舘林 秀和 (たてばやし しゅうと)
- @shutooike  
- 2019年 インゲージにジョイン
 - リードエンジニア兼ディレクター
 - クラウド電話の立ち上げメンバー
- 1児の父

サービス紹介



メール共有システムなのに

電話ができる！

電話が受けられる！



Re:lotion
クラウド電話
ご紹介資料



ワンクリックで
架電



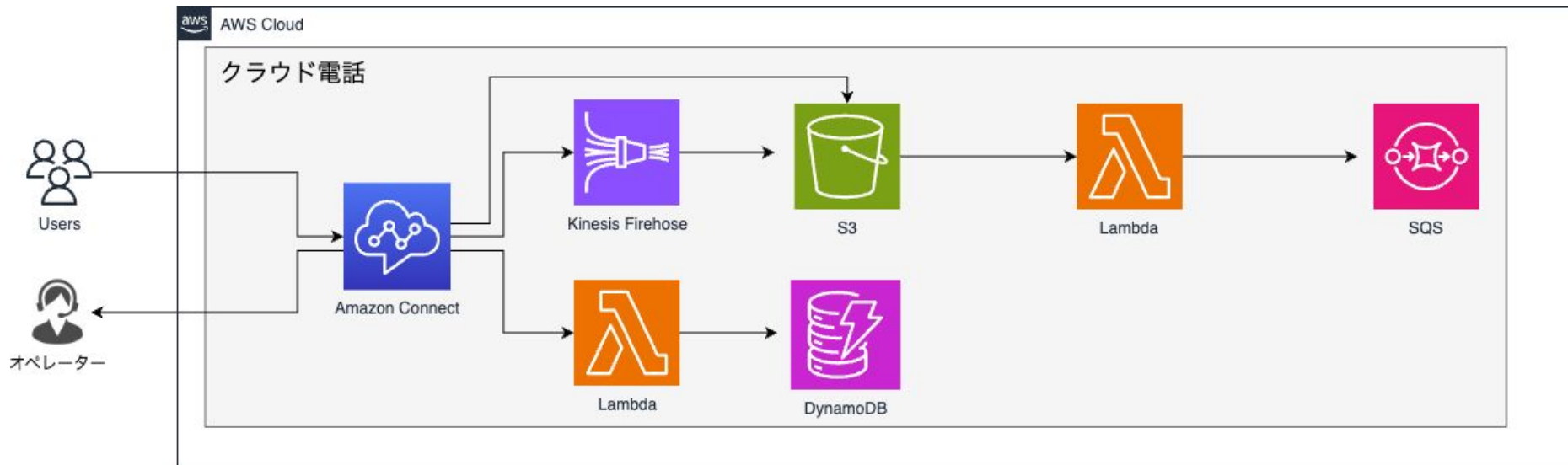
通話メモ
タイムラインが
自動表示



会話を自動で
録音
文字起こし



クラウド電話のアーキテクチャ



クラウド電話で利用しているAWSサービス



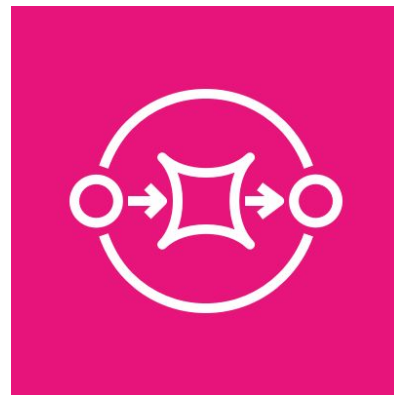
Amazon Connect



Lambda



S3



SQS

クラウド電話で利用しているAWSサービス



Amazon Connect

アマゾン コネクト... 🤔

Amazon Connect とは？

- AWS が提供するクラウドベースのコールセンターシステム
- コールセンターとして必要な機能が一通りあり、マネコンからポチっとすると環境が作成できる
- Amazon Connect は API も提供しており、ブラウザアプリで行えるほとんどの操作がAPIを通じても可能
- さらにソフトフォン（ブラウザで電話ができるやつ）の JavaScript ライブラリも用意されている
 - →自社の Web アプリケーションに組み込める



デモ動画

まとめ

- AWS は Re:lation の成長に欠かせないパートナーです！
 - 多様なニーズに対応する豊富なサービス
 - 丁寧なサポート対応
 - 顧客の声を大事にした開発
 - いつでも相談できるSAさん
- Re:lation も顧客の成長に欠かせないパートナーに！
 - これからも「導入してよかった」を広げられるよう精進します

インゲージではエンジニアを募集しています！



LET'S BUILD THE FUTURE.

新しいソリューションを共に
創る仲間を探しています。

ご清聴ありがとうございました